数

学

第 77 巻

2025

日本数学会編集岩波書店発売

数 学 第77巻 総 目 次

≣ △	説
≣ ```	=0
高冊	別

星 野 壮 登:確率偏微分方程式と正則性構造理論1 日下部佑太: 岡多様体と楕円性──複素解析における ホモトピー原理── 31 佐 野 昂 迪:オイラー系とゼータ関数の特殊値 50 志 賀 弘 典: K3 的超幾何保型形式 63 吉 田 朋 広:理論統計学の基礎数理における最近の 進展──漸近展開と擬似尤度解析── 113 今 野 北 斗:族のゲージ理論 142 田 丸 博 士:離散的な対称空間と quandle 172	篠 原 克 寿:非双曲型力学系の野生的な振る舞いについて
# 田 聖 一: 吉田朋広 '理論統計学の基礎数理の開拓' 186 内 田 雅 之: 吉田朋広氏の業績 187 ②025 年度日本数学会賞春季賞 # 田 聖 一: 今野北斗 '族のゲージ理論と 4 次元トポロジーへの応用' 410 谷 口 正 樹: 今野北斗氏の業績 一族のゲージ理論の観点から 411	編 集 部: 2024年度日本数学会賞建部賢弘賞 受賞者紹介 195 計算機と数学 計算代数幾何学の現在 連接層の 工 藤 桃 成: コホモロジー群と正標数の代数曲線 にまつわる算術を中心に 93 小 島 定 吉: 数学研究とコンピュータ 実験数学 vs. 形式的数学 307
書 J. Zhao: Multiple Zeta Functions, Multiple Polylogarithms and Their Special Values (Ser. Number Theory Appl., 12) (広瀬 稔)…105 P. Iglesias-Zemmour: Diffeology (Math. Surveys Monogr., 185) (栗林勝彦)107 岡本久・長岡亮介: 関数とは何か―近代数学史から のアプローチ (中根美知代)197 M. Schütt and T. Shioda: Mordell-Weil Lattices (Ergeb. Math. Grenzgeb. (3), 70) (小木曽啓示)	評 河澄響矢:トポロジーの基礎(上),(下)(橋本義武)…321 A. Kohatsu-Higa and A. Takeuchi: Jump SDEs and the Study of Their Densities: A Self-Study Book (Universitext)(安田和弘)326 國廣昇編著,安田雅哉・水木敬明・高安敦・高島克幸・米山一樹・大原一真・江村恵太 著:暗号の理論と技術—量子時代のセキュリティ理解のために—(黒澤 馨)332 山崎隆雄:モチーフ理論(岩波数学叢書)(宮崎弘安)…422 S. Omata, K. Svadlenka and E. Ginder: Variational Approach to Hyperbolic Free Boundary Problems (SpringerBriefs Math.)(菊地光嗣)428 竹田雅好・桑江一洋:ディリクレ形式入門(現代基礎数学,20)(上村稔大)433
学界 ニ お知らせ 三菱財団自然科学研究助成について	ュ - ス 2025 年度日本数学会理事長

数学 第77巻 総目次

2025 年度日本数学会代数学賞 220	集会記録
2024 年度日本数学会応用数学賞220	令和 5 年度日本数学会中国・四国支部会 112
2024年度日本数学会応用数学研究奨励賞 220	研究集会'微分方程式の総合的研究' 336
学会開催地と時期の予定 336	第8回代数幾何学研究集会-宇部336
2025 年度日本数学会賞秋季賞 437	第 34 回数学史シンポジウム 437
2025 年度日本数学会幾何学賞 437	2024 年度多変数関数論冬セミナー 437
2025 年度日本数学会解析学賞 437	2024 年度シンポジウム・研究集会記録 438
2025 年度日本数学会賞建部賢弘賞 437	'学界ニュース' の投稿案内
2025 年度京都大学数理解析研究所共同利用研究	'学界ニュース' の投稿案内 336
計画221	'学界ニュース' の投稿案内 438
2025 年度九州大学マス・フォア・インダストリ 研究所共同利用研究計画	
切 九州 共间利用切 九計 回	